

2019年1月23日
川崎汽船株式会社**CDPの「気候変動Aリスト」企業に認定
～ 最高ランクのA評価を3年連続で獲得 ～**

当社は、持続可能な経済を実現させる活動を行う国際非営利団体（NGO）の CDP より、1月22日東京都内で開催された「CDP2018 気候変動日本報告会」において、最高ランクの評価である「気候変動 A リスト」企業に認定されました。「気候変動 A リスト」は、気候変動に対する企業の対応において世界のリーダーであると評価された企業に与えられるものです。

昨年、運用資産総額 87 兆米ドルを超える 650 の機関投資家を代表して CDP から送付された質問書に対して、自社の気候変動情報を開示した企業のうち、報告年における排出削減活動などの気候変動対策が特に優秀であると評価された上位 126 社が A リストに認定されました。このうち日本企業は 20 社で、3 年連続の選定は 7 社のみでした。

当社は中期経営計画において ESG（環境・社会・ガバナンス）の取組みを経営上の重要課題と定めています。環境の分野においては、2015 年に策定した長期環境指針「"K" LINE 環境ビジョン 2050 ～青い海を明日へつなぐ～」（注）に沿った対応を進めており、中でも当社グループ全体で環境コンプライアンスを確保しつつ、継続的に環境保全活動を推進するための体制「DRIVE GREEN NETWORK」の始動が実を結び、3 年連続の A リストの評価を得ることができました。

当社は今後も環境フロントランナーとして、世界中のより多くの人々が、より環境に低負荷で高効率な海運のメリットを享受できる事業の実現を目指します。





報告会でスピーチを行う中野執行役員

(注) 「“K” LINE 環境ビジョン 2050」: 詳細は以下のリンクからご参照ください

https://www.kline.co.jp/news/detail/1202374_1454.html

以上